平成25年 5月22日 国土交通省木曽川下流河川事務所 水資源機構中部支社 水資源機構長良川河口堰管理所

長良川河口堰の管理状況

~1週間の河口堰のゲート操作状況、気象・水象・水質状況等~

平成25年5月13日から5月19日までの1週間の長良川河口堰のゲー 1. 概 ト操作状況、気象・水象・水質状況等についてお知らせします。

【フラッシュ操作の実施状況】

更なる弾力的運用として取り組んでいるアンダーフラッシュ操 作を、今年度は5月13日から開始しました。

【河口堰上下流の塩分濃度(塩化物イオン値)の状況】

堰上流部では7~11mg/ℓ、堰下流部では5,300~17,000mg/ℓの値 で推移しました。

飲用に適する塩分濃度は200mg/l以下、工業用では20mg/l以下 であり堰上流部ではこれらの基準を満足しています。

【堰上流部における用水の利用】

長良導水 (知多半島の4市5町への水道用水) として、約105万 m³ (1週間の日平均取水量1.74m³/s) が利用されました。 その他各用水として水利権量の範囲内で利用されました。

【堰下流への流下量】

堰を通過して流れている流量は、1週間の日平均流量のうち最小 の日の値は30m³/s (5月19日)、最大の日の値は65m³/s (5月13日) です。

- 2. 資 料 ① 長良川河口堰の管理状況 (No. 674) ······ 1頁 ~ 6頁
 - ② 調査結果(平成25年5月13日~5月19日) …… 1/7 ~ 7/7
 - ③ アユの遡上調査結果 ……………… 1/4 ~ 4/4
 - ④ サツキマス入荷状況 ……………… 1/3 ~ 3/3
 - ⑤ アンダーフローによるフラッシュ操作とは …… 1/1
- 3. 問合せ先 • 堰関連

独立行政法人 水資源機構 中部支社

総務課長 石井 英樹 **☎**(052)231-7541 (代)

独立行政法人 水資源機構 長良川河口堰管理所

管理課長 花田 弘幸 **☎**(0594)42-5012 (代)

• 水質関連

国土交通省 木曽川下流河川事務所

河川環境課長 真柄 前洋 ☎(0594)24-5716

長良川河口堰のホームページで、現在のゲート状況などリアルタイムの管理状況をご覧になれます。

http://www.water.go.jp/chubu/nagara/index.html

長良川河口堰の管理状況

No. 674

平成25年5月13日から5月19日までの1週間の長良川河口堰の管理状況は、以下のとおりです。

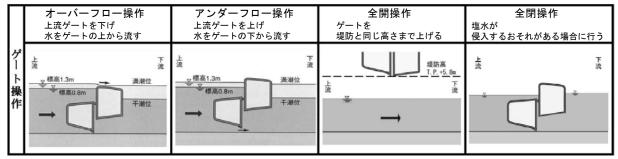
1. ゲートの操作状況

・5月13日から5月19日までのゲート操作は次のとおり行いました。

9 🛭	時時点の調節	iゲート操作	状況(※1)		フラッ	・シュ操作実施	1状況
月日	オーバーフロー	アンダー フロー	全開	全閉	月	日	実施時間	ケート状態 (※ 2)
5月13日	(1)~(10)				5 日	13 日	8:20~8:50	図 a (左岸側)
5月15日	(1), (10)				υД	19 日	21:50~22:20	図 b (右岸側)
5月14日		4 ~ 8		①~③ ②~⑩	5月	14 日	8:50~ 9:20	図 c (全門)
0 / 14 µ		± 10		(アンダーフロー 移行中)	0)1	т н	22:30~23:00	図 a (左岸側)
5月15日					5月	15 日	9:20~ 9:50	図 b (右岸側)
0万10日					0 77	10 н	23:00~23:30	図 c (全門)
5月16日					 5	16 日	10:00~10:30	図 d (オーバー)
5万10日					0 77	10 д	23:50~ 0:30	図 d (オーバー)
5月17日					5 FI	17 日	_	_
5 Д 17 Д					σл	11 11	_	_
5月18日					 5 日	18 日	_	_
5万10日					3 Д	10 д	_	_
5月19日					5 F	19 日	_	_
0 /7 13 H	1) - 10				U /J	13 🖂	_	_

※1) ゲート操作状況の解説

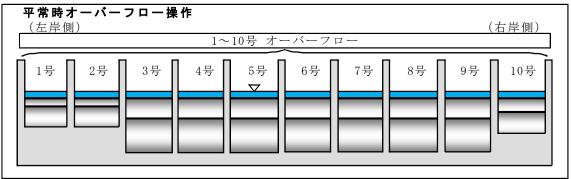
調節ゲート1号を①、調節ゲート2号を②として、9時時点のゲートの状態を表しています。

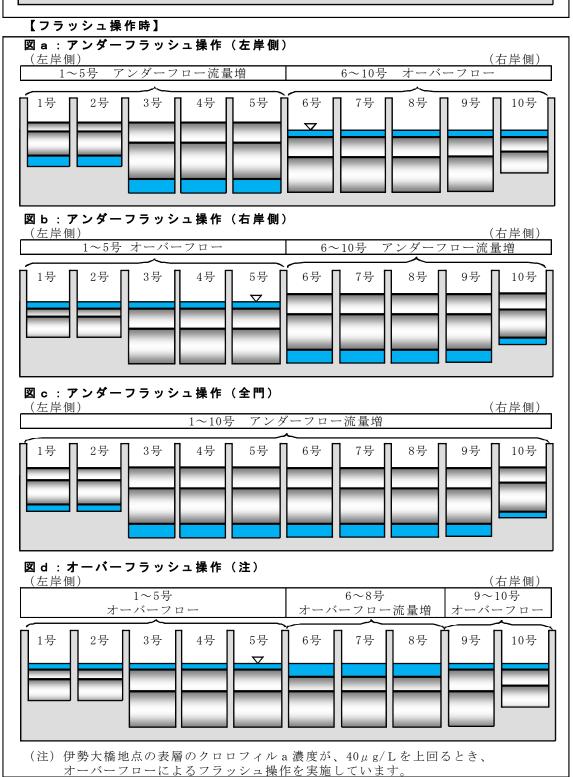


※2) フラッシュ操作時のゲート状態 次ページ 図 a ~ d を参照。

調節ゲート説明図

【平常時】





2. 堰上下流水位の状況

1)堰上流水位※

最高時 T. P. +1. 23m 5月13日 21時52分頃 最低時 T. P. +0. 85m 5月18日 15時21分頃

2) 堰下流水位

最高時 T. P. +0. 99m 5月13日 20時26分頃 最低時 T. P. -1. 02m 5月13日 14時22分頃

※平常時の堰上流水位は、標高T. P. +1. 3mから標高T. P. +0. 8mまでの範囲で管理 しています。

3. 気象、水象状況

河口堰地点の気象、水象は次のとおりです。

日	天 気	気温	雨量	風速	風向	忠節	堰下流へ	
		(℃)	(mm)	(m/s)	(16方位)	流量 (m³/s)	の流下量 (真水) (m³/s)	
13	晴れ一時曇り	21.5	1	3. 4	S	45	65	
14	晴れ	21.8	1	3.8	S	35	60	
15	曇り時々晴れ	21. 2	ı	5. 0	S	35	55	5月の過去 10ヶ年日平
16	曇りのち晴れ	20.8	-	5. 7	NW	30	45	均流下量 (m³/s)
17	晴れ	20.0	_	4. 3	S	30	50	160
18	曇り時々晴れ	21. 1	1	5. 4	S	25	35	100
19	曇りのち雨	20. 1	23	4. 7	SSE	25	30	
合計			23				_	

- ※・気温は9時現在値です。
 - ・雨量は当日0時から24時までの合計値です。
 - ・風速は当日0時から24時までの平均値です。
 - ・風向(平均風向)は当日0時から24時までの最頻値です。
 - ・忠節流量は9時現在値です。
 - ・堰下流への流下量は当日0時から24時までの平均値です。
 - ・忠節流量、堰下流への流下量の値は、 $100 \text{m}^3/\text{s}$ 未満の場合には $5 \text{m}^3/\text{s}$ 刻み、 $100 \text{m}^3/\text{s}$ 以上の場合には有効数字 2 桁とした概略値です。 なお、堰流下量については、堰上流水位を小潮・大潮の時期に応じて、標高T. P. +1. 3 m から標高T. P. +0. 8 m までの範囲で変化させる操作により、日によって増減することがあります。

4. 閘門の利用状況

閘門の利用状況については、次のとおりです。

月日	5月						
	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
操作回数	6	5	9	8	10	11	11
利用船舶数	8	7	10	12	11	15	12

5. 水質等の状況

1) 河口堰上下流の塩分濃度変化(速報値)

河口堰では堰の上流水域を淡水化し、新たな水利用及び既存用水の常時取水の安定化を可能としています。

その確認のため、塩分濃度の状況を塩化物イオン値(C1⁻濃度)で常に監視しています。堰上下流の塩分濃度は、次のとおりです。

(単位:mg/l)

			:	塩ケ		芝 (岩	塩化物	タイプ	ナン値)		
月		時刻	堰_	上流	左岸	2501	n地	点	堰下流	左岸2501	m地点
月	日時刻		上	層	中	層	下	層	上 層	中層	下層
5月	13日	9:00		9		9		10	8,600	14,000	14,000
	14日	9:00		10		10		10	12,000	14,000	13,000
	15日	9:00		10		10		11	9, 400	13,000	12,000
	16日	9:00		9		9		11	13,000	13,000	12,000
	17日	9:00		8		8		9	15,000	17,000	16,000
	18日	9:00		7		9		10	8,900	17,000	16,000
	19日	9:00		7		8		10	5, 300	15,000	15,000

- ※・塩分濃度 (NaCl, MgCl₂, KCl等の混合時の濃度) とCl⁻濃度の関係は「塩分濃度=300+1.805×Cl⁻濃度」です。
 - ・塩分濃度(塩化物イオン値)の基準は飲料水200mg/ℓ以下、 工業用水20mg/ℓ以下です。
- 2) 堰上下流水域、揖斐川及び木曽川のシラベール(水質自動監視装置)のクロロフィル a (速報値) の状況は次のとおりです。

(単位: μg/L)

	堰口	下流才	〈域				堰	上	7	t	水	域				堰汾	九人地	点	揖	斐	Ш	木	曽	Ш
$ \cdot $		長良: 3.0km			勢 大 6.4km			良川大 13.6km			海 大 22.6km			濃 大 28.4km			藪 大 11.2km		切	t ī -0. 5kr	有 n	弱	₹ 8.7km	#NJ:
$ \ $	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
13日		欠測の		38. 9	17. 2	27. 5	20. 4	4. 3	11.9	5. 1	2. 4	4. 1	3. 0	1. 7	2. 2		欠測の 明:(欠測の 明:		4. 7	3. 4	4. 0
14日	5.3	1. 0	2. 8		欠測の		26.5	6. 7	16.8	4. 5	2. 1	3.5	3. 0	1. 7	2. 2		欠測の 明: (4. 7	0.6	2. 1		欠測の	
15日	8. 3	0. 4	2. 8	51.4	34. 6	42. 7	40.0	17. 5	26. 3	4. 9	3. 3	4. 0		欠測の 明:			欠測の 明:(5. 5	1.3	2.9	9. 7	3. 3	4. 1
16日	9.8	0. 4	2. 7	60 以上	40. 8	-	56.5	25. 4	38. 0	7. 1	3. 6	5.3	2. 8	1. 9	2. 3		欠測の 明:(5. 3	1.1	2.9	9. 9	3. 1	4. 6
17日	6.7	0. 4	1.8	60 以上	45. 5	-	60 以上	22. 7	-	7. 3	2. 3	4.8	4. 4	1. 7	2. 3		皮測の 明: (4. 3	0.5	2.4	60 以上	4. 8	-
18日	6. 1	0. 1	2. 2	60 以上	55. 9	-	60 以上	54. 4	-	6. 5	4. 0	5. 2	2. 8	1. 7	2. 1		皮測の 明: (10. 6	1.1	3.9	20. 1	4. 1	10. 9
19日	3. 1	1. 0	1.8	60 以上	46. 0	-	60 以上	60 以上	-	9. 8	4. 2	6.3	3. 6	1. 9	2. 7		マ測の 明: (30. 7	3. 4	12. 8	12. 1	3. 5	6. 7

[※] クロロフィルaの測定範囲の上限値は60 μ g/Lです。

[※] 欠測理由 A:保守点検 B:出水 C:計測・電送不良等

^{※・}クロロフィル a (chlorophyll a) は、植物の光合成において基本的な役割を果たしている葉緑素のひとつで、光合成細菌を除くすべての緑色植物に含まれているため、藻類の存在量の指標となります。従って、藻類の発生量が増加すると、クロロフィル a の値が増加します。

6. その他

1) ゲート保守点検

5月13日、14日、15日、16日に扉体、戸当り、開閉装置の保守点検 を行いました。

2) 主な水利用

①長良導水(水道用水)

月日	長良導水(水道用水)
5月 13日	1.72 m $^3/$ s
14日	1.85 m $^3/$ s
15日	1.76 m $^3/$ s
16日	1.73 m $^3/$ s
17日	1.79 m $^3/$ s
18日	1.75 m $^3/$ s
19日	1.61 m $^3/$ s
期間中の取水総量	約 105万m³
期間中の平均取水量	約 150千m³/日
	$(1.74 \text{m}^3/\text{s})$
供給先	知多半島の4市5町

※データの出典先

長良導水:水資源機構木曽川用水総合管理所

総量は、日平均取水量 (m^3/s) の合計に、86,400(=60秒 \times 60分 \times 24時間)を掛け、当該期間中の延べの使用水量に換算したもの。

②その他にも水利権量の範囲内で利用されました。

名 称	目 的	水利権量	供給先
長良川用水	かんがい	$4.03 \text{m}^3/\text{s}^{*_1}$	羽島市、海津市
福原用水	かんがい	$0.256 \text{m}^3/\text{s}^{*2}$	愛西市
中勢水道	水道用水	$0.732 \text{m}^3/\text{s}^{*2}$	津市、松阪市
北伊勢工業用水	工業用水	$2.951 \text{m}^3/\text{s}^{*2}$	桑名市、四日市市他
桑名市長島町	水道・かんがい	$1.22 \text{ m}^3/\text{s}^{*_2}$	桑名市長島町
	• 水路維持		

- ※1 期別最大取水量(4月20日~5月25日)
- ※2 年間最大取水量

コラム (河口堰周辺のいきもの)

カイエビ (カイエビ科)



撮影:平成25年5月17日 桑名市長島町内の田んぼにて

今週は、カイエビを紹介させていただきます。

カイエビは、見た目は貝ですが、実際は貝と言うより。「ミジンコ」 に近い仲間で、恐竜の時代からの生き残りとのことです。

貝と貝の間から頭と足を出して泳ぎます。(思ったより早い。)貝の 殻を被ったエビという感じです。昔から田んぼ生き物として有名なホウ ネンエビやカブトエビの仲間ということです。

このカイエビ、田んぼという生活に上手にマッチしており、浅い水深と柔らかい土。そして、定期的な乾燥状態(カイエビは、卵で乾期を乗り越えます。乾期が無いと卵がふ化しないとも言われています。)が無いと生きていけません。日本の田んぼにぴったりといったところです。

皆さんも田んぼに水を張った直後の数日は、田んぼを少しのぞいて見てください。カイエビが忙しく泳いでいるかもしれません。(藤)

(平成25年5月13日)

(1) 気象状況

(3)水位状況(9時)

(観測地点:堰管理所構内) 堰上流: T. P. 1. 14 m

天 候 : 晴れ (9時) 堰下流: T.P. 0.58 m

気 温 : 21.5℃ (9時) 忠 節: -3.30 m (約 45 m3/s) ※

降雨量 : - mm (前日) ※速報値であり概数値です。 長良川50. 2km地点 水位計零点標高T. P. +12. 56m

(2)潮位状況(前日) (4)塩分濃

(4) 塩分濃度(塩化物イオン値)(9時)

月 齢 : 潮 (堰 ⁻	2. 1			河口堰	観測位置	単位		堰下流左岸 5. 4km-250m
満潮 :	6時40分	T. P.	1. 02m					
	19時50分	T. P.	1. 14m	塩分濃度	上層	mg/l	9	8, 600
干潮 :	1時00分	T. P.	−0. 29m	塩ガ張及 (塩化物付 ン値)	中層	mg/l	9	14, 000
	13時40分	T. P.	−1. 03m	ノI単/	下層	mg/l	10	14, 000

(5)水質状況(9時)

* 本表のデータは、速報値であり概数値です。

- ∓□	24.17	堰流入地点		堰上流			堰下流水域	揖斐川	木曽川
項目	単位	大藪大橋 31. 2km	南濃大橋 28. 4km	東海大橋 22. 6km	長良川大橋 13.6km	伊勢大橋 6. 4km	揖斐長良大橋 3.0km	城 南 −0. 5km	弥 富 8.7km
表層水温	°C	欠測	19. 2	17. 9	18. 4	18. 4	18. 1	17. 6	17. 6
低層水温	°C	_	_	17. 3	18. 0	17. 0	17. 6	17. 5	_
рΗ	ı	欠測	7. 5	7. 2	7. 2	7. 9	7. 7	-	_
表層DO	mg/l	欠測	9. 7	8. 5	8. 3	9. 7	8. 6	8. 7	8. 5
低層DO	mg/l	ı	ı	8. 2	7. 9	8. 4	6. 5	7. 4	_
COD	mg/l	欠測	欠測	-	ı	3. 1	2. 3	-	_
濁度	度	欠測	10. 0	5	5	8	10	-	_
電気伝導度	μS/cm	欠測	103. 0	_	-	_	_	_	_
表層塩分濃度 (塩化物化)値)	mg/l	_	_	7	7	8	5, 820	15, 100	960
低層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l	-	-	5	9	5	13, 500	14, 820	_
総窒素	mg/l	欠測	欠測	1. 08	1. 1	0. 99	1. 10	-	_
総リン	mg/l	0. 03	欠測	0. 07	0. 08	0. 07	0. 08	_	_
クロロフィ ルa	μg/l	欠測	2. 3	2. 4	5. 5	21. 1	1. 4	2. 5	3. 9

N D: 定量下限値未満

(6)ゲート操作状況(9時)

(平成25年5月14日)

(1)気象状況

(3)水位状況(9時)

(観測地点: 堰管理所構内) 堰上流: T. P. 1.06 m

天 候 : 晴れ (9時) 堰下流: T.P. 0.77 m

気 温 : 21.8℃ (9時) 忠 節: -3.39 m (約 35 m3/s) ※

降雨量 : - mm (前日) ※速報値であり概数値です。 長良川50.2km地点 水位計零点標高T.P.+12.56m

(2) 潮位状況(前日) (4) 塩分濃度(塩化物/か値)(9時)

3. 1 堰上流左岸 堰下流左岸 河口堰 観測位置 単位 5. 4km+250m 5. 4km-250m (堰下流水位計) 7時40分 満潮 : T.P. 0. 92m 20時20分 T. P. 0.99m 上層 10 12,000 mg/l塩分濃度 -0.32m (塩化物付 中層 干潮 : 1時30分 T. P. 10 14,000 mg/l ン値) 14時20分 T. P. -1. 02m 下層 mg/l10 13, 000

(5)水質状況(9時)

*本表のデータは、速報値であり概数値です。

- ∓□	24.17	堰流入地点		堰上流			堰下流水域	揖斐川	木曽川
項目	単位	大藪大橋 31. 2km	南濃大橋 28. 4km	東海大橋 22. 6km	長良川大橋 13.6km	伊勢大橋 6. 4km	揖斐長良大橋 3.0km	城 南 −0. 5km	弥 富 8.7km
表層水温	°C	欠測	欠測	20. 2	18. 7	18. 8	18. 8	18. 9	18. 7
低層水温	°C	-	-	20. 0	18. 4	17. 2	19. 0	18. 8	_
рΗ	ı	欠測	欠測	7. 3	7. 2	7. 8	7. 7	ı	_
表層DO	mg/l	欠測	欠測	8. 6	8. 1	9. 5	7. 7	8. 8	7. 8
低層DO	mg/l	ı	1	8. 5	7. 2	7. 8	7. 5	7. 2	_
COD	mg/l	欠測	欠測	1	1	3. 5	2. 3	1	
濁度	度	欠測	欠測	3	5	10	9	ı	_
電気伝導度	μS/cm	欠測	欠測	1	1	1	1	1	
表層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l			6	7	8	7, 140	14, 940	4, 060
低層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l		_	5	7	6	13, 520	14, 920	_
総窒素	mg/l	欠測	欠測	0. 96	1. 12	1. 00	1. 10	_	_
総リン	mg/l	0. 04	欠測	0. 08	0. 07	0. 07	0. 07	_	_
クロロフィ ルa	μg/l	欠測	欠測	2. 5	6. 7	26. 7	1. 6	0. 6	3. 7

ND: 定量下限值未満

(6)ゲート操作状況(9時)

④~⑧号 アンダーフロー ①~③、⑨、⑩号 全閉

(平成25年5月15日)

(1) 気象状況

(3)水位状況(9時)

(観測地点:堰管理所構内) 堰上流: T.P. 1.06 m

天 候 : 晴れ (9時) 堰下流: T.P. 0.72 m

気 温 : 21.2℃ (9時) 忠 節: -3.44 m (約 35 m3/s) ※

降雨量 : - mm (前日) ※速報値であり概数値です。 長良川50. 2km地点 水位計零点標高T. P. +12. 56m

(2)潮位状況(前日)

(4)塩分濃度(塩化物イオン値)(9時)

月 齢 : 潮 (均	4. 1 夏下流水位計)			河口堰	観測位置	単位		堰下流左岸 5. 4km-250m
満潮 :	8時10分	T. P.	0. 85m					
	21時00分	T. P.	0. 93m	塩分濃度	上層	mg/l	10	9, 400
干潮 :	2時00分	T. P.	−0. 29m		中層	mg/l	10	13, 000
	14時30分	T. P.	-0. 90m	71世/	下層	mg/l	11	12, 000

(5)水質状況(9時)

* 本表のデータは、速報値であり概数値です。

- ∓□	24.17	堰流入地点		堰上流	允水域		堰下流水域	揖斐川	木曽川
項目	単位	大藪大橋 31. 2km	南濃大橋 28. 4km	東海大橋 22. 6km	長良川大橋 13.6km	伊勢大橋 6. 4km	揖斐長良大橋 3.0km	城 南 −0. 5km	弥 富 8.7km
表層水温	°C	欠測	22. 3	21. 8	19. 8	20. 0	19. 8	20. 4	19. 5
低層水温	°C	-	_	21. 8	19. 4	17. 8	20. 5	20. 3	_
рΗ	ı	欠測	7. 4	7. 4	7. 4	7. 9	7. 5	ı	_
表層DO	mg/l	欠測	8. 5	8. 9	9. 3	9. 9	7. 7	8. 5	7. 5
低層DO	mg/l	-	-	8. 6	8. 3	7. 4	7. 6	6. 8	_
COD	mg/l	欠測	欠測	1	1	3. 5	2. 1	1	_
濁度	度	欠測	11. 0	3	6	12	9	ı	_
電気伝導度	μS/cm	欠測	137. 0		1	l	-	1	_
表層塩分濃度 (塩化物化)値)	mg/l	_	_	6	6	7	4, 860	11, 520	3, 860
低層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l	-	_	7	5	6	12, 940	11, 600	_
総窒素	mg/l	欠測	欠測	1. 00	1. 03	1. 02	1. 12	_	_
総リン	mg/l	0. 05	欠測	0. 08	0. 08	0. 07	0. 06		_
クロロフィルa	μg/l	欠測	2. 0	3. 8	22. 4	42. 8	2. 5	2. 9	3. 8

N D: 定量下限値未満

(6)ゲート操作状況(9時)

(平成25年5月16日)

(1) 気象状況

(3)水位状況(9時)

(観測地点:堰管理所構内) 堰上流: T.P. 1.06 m

天 候 : 晴れ (9時) 堰下流: T.P. 0.59 m

気 温 : 20.8℃ (9時) 忠 節: −3.48 m (約 30 m3/s)※

降雨量 : - mm (前日) ※速報値であり概数値です。 長良川50.2km地点 水位計零点標高T.P.+12.56m

(2)潮位状況(前日)

(4)塩分濃度(塩化物イオン値)(9時)

	_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			<u> </u>	- 1121121		<u> </u>	
月 齢 : 潮 (堰	5. 1 下流水位計)			河口堰	観測位置	単位		堰下流左岸 5. 4km-250m
満潮 :	8時20分	T. P.	0. 77m					
	21時30分	T. P.	0. 80m	塩分濃度	上層	mg/l	9	13, 000
干潮 :	2時30分	T. P.	−0. 23m	塩ガ張及 (塩化物付 ン値)	中層	mg/l	9	13, 000
	15時10分	T. P.	-0. 78m	ノ1但)	下層	mg/l	11	12, 000

(5)水質状況(9時)

*本表のデータは、速報値であり概数値です。

• ∓ □	単位	堰流入地点		堰上流			堰下流水域	揖斐川	木曽川
項目	・		南濃大橋 28. 4km	東海大橋 22. 6km	長良川大橋 13.6km	伊勢大橋 6. 4km	揖斐長良大橋 3.0km	城 南 −0. 5km	弥 富 8.7km
表層水温	°C	欠測	欠測	22. 4	21. 0	19. 9	20. 2	20. 0	20. 5
低層水温	°C	-	-	22. 5	21. 0	19. 9	20. 2	19. 3	_
рН	ı	欠測	欠測	7. 3	7. 6	7. 7	7. 5	-	_
表層DO	mg/l	欠測	欠測	8. 2	9. 8	9. 2	7. 6	8. 5	7. 1
低層DO	mg/l	-		7. 9	9. 6	9. 4	8. 0	7. 4	_
COD	mg/l	欠測	欠測	1	1	3. 6	2. 5	-	_
濁度	度	欠測	欠測	3	8	12	13	-	_
電気伝導度	μS/cm	欠測	欠測		ı	1	-	_	_
表層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l			7	5	7	6, 420	11, 480	5, 500
低層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l		_	8	5	6	12, 800	15, 460	_
総窒素	mg/l	欠測	欠測	1. 01	0. 98	1. 07	1. 11	_	_
総リン	mg/l	0. 05	欠測	0. 09	0. 08	0. 06	0. 08	_	_
クロロフィ ルa	μg/l	欠測	欠測	3. 6	25. 4	40. 8	3. 4	1. 9	4. 6

N D: 定量下限値未満

(6)ゲート操作状況(9時)

(平成25年5月17日)

(1) 気象状況

(3)水位状況(9時)

(観測地点:堰管理所構内) 堰上流: T.P. 0.88 m

天 候 : 晴れ (9時) 堰下流: T.P. 0.44 m

気 温 : 20.0℃ (9時) 忠 節: -3.51 m (約 30 m3/s) ※

降雨量 : - mm (前日) ※速報値であり概数値です。 長良川50.2km地点 水位計零点標高T.P.+12.56m

(2) 潮位状況(前日) (4) 塩分濃度(塩化物/か値)(9時)

月朝	龄 : (堰	6. 1			河口堰	観測位置	単位		堰下流左岸 5. 4km-250m
,	満潮 :	9時00分	T. P.	0. 59m					
		22時30分	T. P.	0. 56m	塩分濃度	上層	mg/l	8	15, 000
=	干潮 :	3時30分	T. P.	−0. 15m		中層	mg/l	8	17, 000
		16時10分	T. P.	-0. 86m	ノル	下層	mg/l	9	16, 000

(5)水質状況(9時)

* 本表のデータは、速報値であり概数値です。

- ∓□	単位	堰流入地点		堰上沢			堰下流水域	揖斐川	木曽川
項目	単位	大藪大橋 31. 2km	南濃大橋 28. 4km	東海大橋 22. 6km	長良川大橋 13.6km	伊勢大橋 6. 4km	揖斐長良大橋 3.0km	城 南 −0. 5km	弥 富 8.7km
表層水温	°C	欠測	欠測	21. 0	21. 0	20. 4	18. 4	16. 3	19. 8
低層水温	°C	-	_	20. 9	21. 0	20. 0	16. 2	15. 9	_
рΗ	ı	欠測	欠測	7. 4	7. 6	8. 6	7. 9	-	_
表層DO	mg/l	欠測	欠測	8. 2	9. 1	10. 0	7. 1	6. 7	8. 5
低層DO	mg/l	ı	_	7. 9	8. 8	9. 2	6. 4	5. 2	_
COD	mg/l	欠測	欠測	-	ı	3. 9	1. 8	-	_
濁度	度	欠測	欠測	3	9	16	10	_	_
電気伝導度	μS/cm	欠測	欠測	-	ı	ı		_	_
表層塩分濃度 (塩化物化)値)	mg/l	_	_	8	6	7	11, 060	15, 200	8, 800
低層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l	-	_	9	7	5	16, 780	17, 260	_
総窒素	mg/l	欠測	1. 18	欠測	1. 01	1. 08	1. 22	-	_
総リン	mg/l	欠測	0. 08	0. 09	0. 08	0. 07	0. 06	_	_
クロロフィ ルa	μg/l	欠測	欠測	4. 1	30. 2	54. 8	1. 1	1. 1	55. 0

N D: 定量下限値未満

(6)ゲート操作状況(9時)

(平成25年5月18日)

(1) 気象状況

(3)水位状況(9時)

(観測地点:堰管理所構内) 堰上流: T. P. 0.85 m

天 候 : 晴れ (9時) 堰下流: T.P. 0.24 m

気 温 : 21.1 °C (9時) 忠 節: −3.53 m (約 25 m3/s)※

降雨量 : - mm (前日) ※速報値であり概数値です。 長良川50.2km地点 水位計零点標高T.P.+12.56m

(2)潮位状況(前日)

(4)塩分濃度(塩化物イオン値)(9時)

月 齢 : 潮 (堰 満潮 :	7. 1 下流水位計) 9時40分	T. P.	0. 50m	河口堰	観測位置	単位		堰下流左岸 5. 4km-250m
	22時50分	T. P.	0. 64m	塩分濃度	上層	mg/l	7	8, 900
干潮 :	4時10分	T. P.	−0. 17m	(塩化物付ン値)	中層	mg/l	9	17, 000
	16時40分	T. P.	−0. 55m	ノ心	下層	mg/l	10	16, 000

(5)水質状況(9時)

* 本表のデータは、速報値であり概数値です。

-= n	単位	堰流入地点		堰上涼	允水域		堰下流水域	揖斐川	木曽川
項目	単位	大藪大橋 31. 2km	南濃大橋 28. 4km	東海大橋 22. 6km	長良川大橋 13.6km	伊勢大橋 6. 4km	揖斐長良大橋 3.0km	城 南 −0. 5km	弥 富 8.7km
表層水温	°C	欠測	21. 6	21. 3	21. 8	20. 7	19. 8	19. 1	20. 1
低層水温	°C	1	_	21. 3	21. 6	20. 0	16. 5	18. 8	_
рΗ	ı	欠測	7. 5	7. 4	8. 0	8. 9	7. 8	ı	_
表層DO	mg/l	欠測	9. 2	8. 6	10. 3	10. 7	8. 0	7. 8	7. 4
低層DO	mg/l	-	-	8. 2	9. 1	8. 0	5. 0	6. 3	-
COD	mg/l	欠測	2. 1	ı	_	3. 8	2. 2	-	_
濁度	度	欠測	20. 0	3	10	13	11	-	_
電気伝導度	μS/cm	欠測	151. 0	-	-	_	_	-	-
表層塩分濃度 (塩化物化)値)	mg/l	_	-	8	6	7	7, 140	11, 880	6, 300
低層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l	ı	-	10	8	5	16, 400	12, 440	_
総窒素	mg/l	2. 99	1. 36	1. 00	1. 00	1. 02	1. 17	_	_
総リン	mg/l	0. 08	0. 08	0. 09	0. 09	0. 07	0. 06		_
クロロフィルa	μg/l	欠測	2. 0	4. 0	54. 4	60以上	4. 6	1. 6	13. 0

N D: 定量下限値未満

(6)ゲート操作状況(9時)

(平成25年5月19日)

(1) 気象状況

(3)水位状況(9時)

(観測地点: 堰管理所構内) 堰上流: T. P. 0.92 m

天 候 : 曇り (9時) 堰下流: T.P. 0.04 m

気 温 : 20.1℃ (9時) 忠 節: -3.54 m (約 25 m3/s) ※

降雨量 : - mm (前日) ※速報値であり概数値です。 長良川50. 2km地点 水位計零点標高T. P. +12. 56m

(2) 潮位状況(前日) (4) 塩分濃度(塩化物/か値)(9時)

8. 1 堰上流左岸 堰下流左岸 河口堰 観測位置 単位 5. 4km+250m 5. 4km-250m (堰下流水位計) 11時10分 満潮 : T.P. 0. 41m T.P. 上層 5, 300 mg/l塩分濃度 -0.11m (塩化物付 中層 8 15, 000 干潮 : 5時00分 T. P. mg/l ン値) mg/l18時10分 T.P. -0. 43m 下層 10 15, 000

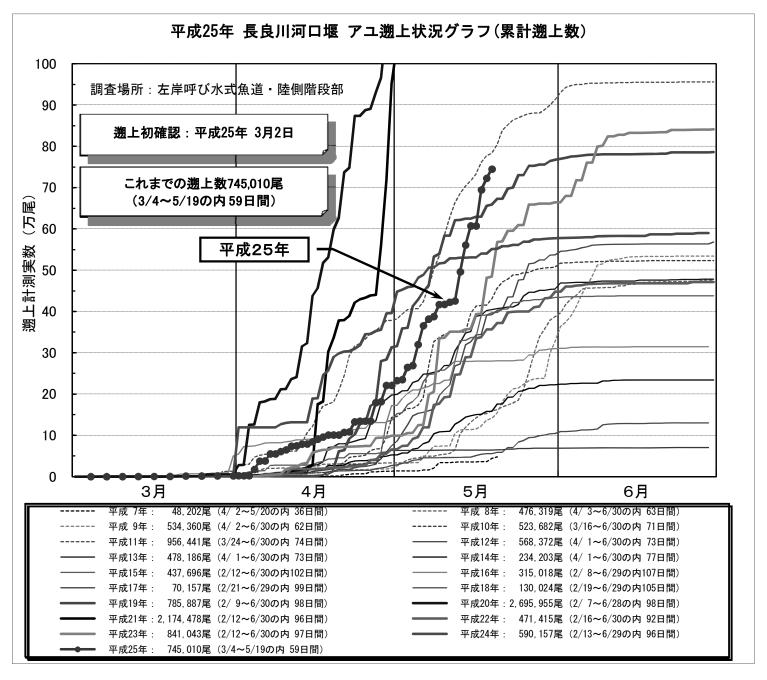
(5)水質状況(9時)

*本表のデータは、速報値であり概数値です。

- ∓□	単位	堰流入地点		堰上沢			堰下流水域	揖斐川	木曽川
項目	単位	大藪大橋 31. 2km	南濃大橋 28. 4km	東海大橋 22. 6km	長良川大橋 13.6km	伊勢大橋 6. 4km	揖斐長良大橋 3.0km	城 南 −0. 5km	弥 富 8.7km
表層水温	°C	欠測	21. 6	21. 5	22. 1	21. 2	20. 3	20. 0	20. 5
低層水温	°C	-	_	21. 6	22. 0	20. 1	16. 9	19. 6	_
рΗ	ı	欠測	7. 4	7. 4	8. 7	8. 9	8. 0	-	_
表層DO	mg/l	欠測	8. 1	8. 9	11. 7	10. 2	8. 7	8. 0	7. 3
低層DO	mg/l	1		8. 5	11. 0	7. 3	3. 9	6. 8	_
COD	mg/l	欠測	2. 2	1	1	3. 8	2. 4	-	_
濁度	度	欠測	22. 0	3	12	12	13	_	_
電気伝導度	μS/cm	欠測	156. 0	-	ı	ı		_	_
表層塩分濃度 (塩化物化)値)	mg/l	_	_	8	6	6	6, 660	8, 900	3, 080
低層塩分濃度 (塩化物イオン値)	mg/l	-	_	11	9	5	16, 000	12, 880	_
総窒素	mg/l	3. 1	1. 36	1. 00	1. 01	0. 98	1. 12	_	_
総リン	mg/l	0. 16	0. 08	0. 09	0. 10	0. 06	0. 06	_	_
クロロフィ ルa	μg/l	欠測	2. 5	4. 5	60以上	58. 9	1. 6	5. 6	12. 1

ND: 定量下限值未満

(6)ゲート操作状況(9時)



左岸呼び水式魚道・陸側階段部におけるアユの遡上数一覧表(速報) 陸側(水平部)を 川側(切り欠き部)を 計測を実施して 計測している日 計測している日 いない日 (単位:尾) (単位:尾) 累計 日 付 計測実数 累計 日 付 計測実数 5月1日 11, 586 232, 685 6月1日 6月2日 5月2日 2, 322 235, 007 5月3日 29, 889 264, 896 6月3日 5月4日 4, 355 269, 251 6月4日 5月5日 50, 898 320, 149 6月5日 5月6日 45, 643 365, 792 6月6日 5月7日 381, 678 15.886 6月7日 5月8日 6, 389 388, 067 6月8日 5月9日 29.004 417.071 6月9日 5月10日 445 417, 516 6月10日 5, 100 5月11日 422, 616 6月11日 5月12日 3.058 425. 674 6月12日 5月13日 496, 287 70.613 6月13日 561, 150 5月14日 64, 863 6月14日 5月15日 607, 429 46, 279 6月15日 607.489 6月16日 5月16日 60 5月17日 87, 291 694, 780 6月17日 5月18日 722, 729 27. 949 6月18日 745, 010 5月19日 22, 281 6月19日 5月20日 6月20日 6月21日 5月21日 5月22日 6月22日 5月23日 6月23日 5月24日 6月24日 5月25日 6月25日 5月26日 6月26日 5月27日 6月27日 5月28日 6月28日

6月29日

6月30日

5月29日

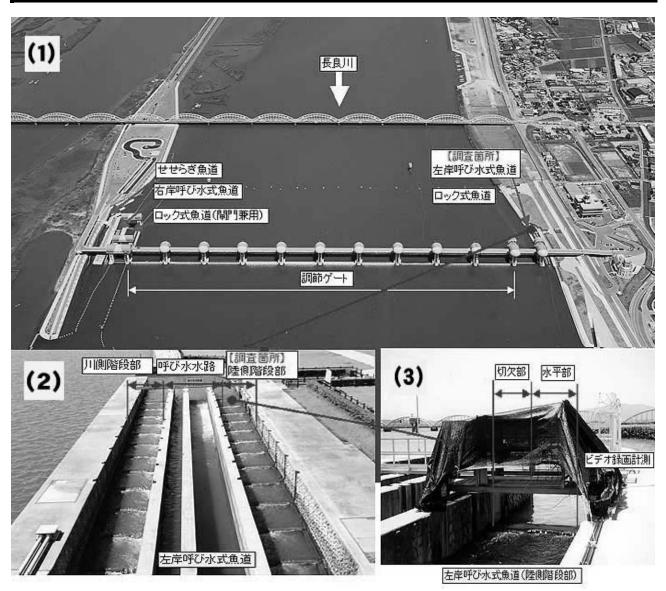
5月30日

5月31日

左岸呼び水式魚道・陸側階段部におけるアユの遡上数一覧表(速報) 陸側(水平部)を 川側(切り欠き部)を 計測を実施して 計測している日 計測している日 いない日 (単位:尾) (単位:尾) (単位:尾) 日 付 計測実数 累計 日 付 累計 計測実数 日 付 | 計測実数 累 計 2月1日 3月1日 4月1日 2, 251 159 2月2日 3月2日 初溯上確認 4月2日 2, 262 11 2月3日 4月3日 344 2,606 3月3日 2月4日 26 26 4月4日 17, 617 3月4日 15, 011 2月5日 3月5日 26 4月5日 20, 160 37.777 38, 025 2月6日 26 4月6日 248 3月6日 36 55, 247 2月7日 3月7日 10 4月7日 17, 222 36 4月8日 2月8日 55. 408 3月8日 161 2月9日 3月9日 36 4月9日 5.653 61.061 2月10日 3月10日 161 197 4月10日 3.960 65.021 197 74.007 2月11日 3月11日 4月11日 8.986 2月12日 3月12日 197 4月12日 597 74.604 78.902 2月13日 3月13日 288 485 4月13日 4.298 2月14日 485 4月14日 79.338 3月14日 436 2月15日 3月15日 485 4月15日 5. 155 84.493 90.836 2月16日 3月16日 130 615 4月16日 6.343 2月17日 615 4月17日 5, 220 96, 056 3月17日 2月18日 3月18日 615 4月18日 4. 781 100, 837 2月19日 3月19日 56 671 4月19日 227 101.064 3月20日 671 4月20日 101, 072 2月20日 2月21日 3月21日 671 4月21日 6. 427 107, 499 2月22日 3月22日 842 1. 513 4月22日 1.026 108, 525 2月23日 3月23日 1,513 4月23日 24, 333 132, 858 2月24日 3月24日 1,513 4月24日 1. 790 134, 648 2月25日 3月25日 37 1.550 4月25日 13 134, 661 2月26日 3月26日 1,550 4月26日 29 134, 690 2月27日 1.550 4月27日 3月27日 44, 757 179, 447 2月28日 3月28日 537 2. 087 4月28日 2.414 181, 861 3月29日 2, 087 4月29日 39, 213 221,074 2, 087 3月30日 4月30日 221,099 3月31日 2.092

- ・この表の遡上数は、毎年の遡上数を比較する目安として、長良川河口堰の魚道のうち1箇所で 調査しているものです。全ての魚道を調査したものではありません。
- ・「川側」「陸側」と区別しているとおり、1つの魚道水路を左右に分割して交互に計測しているので、 水路の遡上数のおおむね50%程度を数えていると考えられます。

長良川河口堰地点におけるアユの遡上調査方法



長良川河口堰には、(1)の様に3種類【呼び水式魚道、ロック式魚道、せせらぎ魚道】5カ所の魚道があります。 現在、長良川河口堰のホームページで公表しています河口堰地点におけるアユの遡上数は、

全魚道を通過した稚アユの数を表したものではなく、魚道の一部を通過した実測値を表しているものであります。

河口堰地点における調査方法

【平成12年度~現在まで】

3種類5カ所の魚道の内、(2)の左岸呼び水式魚道(陸側階段部)において、(3)の様に陸側階段部を横断方向に切欠部分と水平部分に分け、毎日交互に日の出から日の入りまでの間、ビデオによる連続録画を行い、この録画ビデオを基に稚アユの遡上個体数を計測する方法で調査を実施しています。

【平成7年度~平成11年度まで】

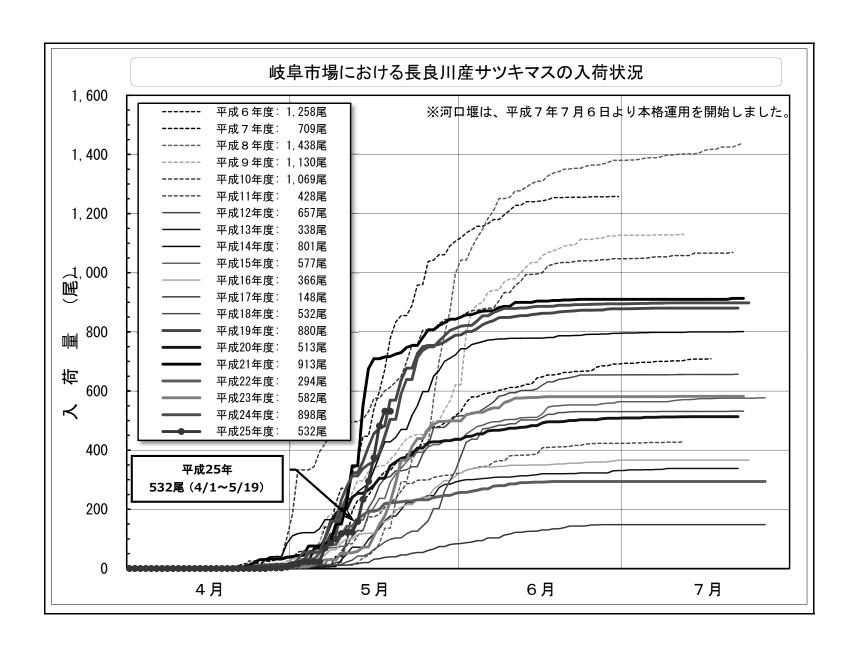
5カ所の魚道の内、左岸呼び水式魚道、右岸呼び水式魚道、せせらぎ魚道の3カ所において、目視にて10分間観測し10分間休憩、その後再び10分観測するというサイクルで稚アユの遡上数を計測していました。

く参考>

河口堰ではある程度の規模の洪水が発生した場合、洪水を安全に流下させるためのゲート操作(全開操作※注)を 実施します。

左岸呼び水式魚道(グラフでアユの遡上を計測している魚道)においてもそのための操作を実施しますが、その操作 を実施した場合アユ遡上の計測が出来なくなるため、欠測時間が生じてしまいます。

※注:堰のゲートを河川水位より上方に固定する操作



岐阜市場における長良川産サツキマスの入荷状況(速報)

	成十月初にのける民民/川庄ラフィマハの/バ月/(//////// 型取)												
		፲:尾)			፲:尾)			江:尾)			江:尾)		
日付	入荷尾数	累計	日付	入荷尾数	累計	日付	入荷尾数	累計	日付	入荷尾数	累計		
4月1日	0	0	5月1日	6	11	6月1日			7月1日				
4月2日	0	0	5月2日	4	15	6月2日			7月2日				
4月3日	0	0	5月3日	8	23	6月3日			7月3日				
4月4日	0	0	5月4日		23	6月4日			7月4日				
4月5日	0	0	5月5日		23	6月5日			7月5日				
4月6日	0	0	5月6日		23	6月6日			7月6日				
4月7日		0	5月7日	46	69	6月7日			7月7日				
4月8日	0	0	5月8日	17	86	6月8日			7月8日				
4月9日	0	0	5月9日	14	100	6月9日			7月9日				
4月10日		0	5月10日	18	118	6月10日			7月10日				
4月11日	0	0	5月11日	5	123	6月11日			7月11日				
4月12日	0	0	5月12日		123	6月12日			7月12日				
4月13日	0	0	5月13日	36	159	6月13日			7月13日				
4月14日		0	5月14日	75	234	6月14日			7月14日				
4月15日	0	0	5月15日	61	295	6月15日			7月15日				
4月16日	0	0	5月16日	80	375	6月16日			7月16日				
4月17日	0	0	5月17日	107	482	6月17日			7月17日				
4月18日	0	0	5月18日	50	532	6月18日			7月18日				
4月19日	0	0	5月19日		532	6月19日			7月19日				
4月20日	0	0	5月20日			6月20日			7月20日				
4月21日		0	5月21日			6月21日			7月21日				
4月22日	0	0	5月22日			6月22日			7月22日				
4月23日	0	0	5月23日			6月23日			7月23日				
4月24日		0	5月24日			6月24日			7月24日				
4月25日	0	0	5月25日			6月25日			7月25日				
4月26日	0	0	5月26日			6月26日			7月26日				
4月27日	2	2	5月27日			6月27日			7月27日				
4月28日		2	5月28日			6月28日			7月28日				
4月29日		2 2 2 5	5月29日			6月29日			7月29日				
4月30日	3	5	5月30日			6月30日			7月30日				
			5月31日						7月31日				

表の中で斜線が入っている日は、岐阜市場がお休みだった日です。

岐阜市場における河川別サツキマスの入荷状況

河川名	長	長良川		当 川	揖	是 川	合計
調査期間	尾数	比率	尾数	比率	尾数	比率	百訂
H6.4.18~6.30	1,258	72%	280	16%	215	12%	1,753
H7.4.27~7.17	709	66%	263	25%	101	9%	1,073
H8.4.30~7.30	1,438	72%	395	20%	178	9%	2,011
H9.4.13~7.12	1,130	57%	694	35%	174	9%	1,998
H10.4.18~7.25	1,069	65%	422	26%	161	10%	1,652
H11.4.19~7.24	428	67%	161	25%	51	8%	640
H12.4.1~7.22	657	65%	248	25%	104	10%	1,009
H13.4.1~7.21	338	80%	55	13%	31	7%	424
H14.4.1~7.23	801	63%	80	6%	386	30%	1,267
H15.4.1~7.26	577	88%	18	3%	64	10%	659
H16.4.1~7.24	366	77%	67	14%	42	9%	475
H17.4.1~7.26	148	87%	4	2%	19	11%	171
H18.4.1~7.22	532	80%	16	2%	116	17%	664
H19.4.1~7.22	880	89%	60	6%	48	5%	988
H20.4.1~7.22	513	83%	8	1%	97	16%	618
H21.4.1~7.23	913	94%	10	1%	50	5%	973
H22.4.1~7.27	294	59%	156	31%	47	9%	497
H23.4.1~7.23	582	89%	35	5%	38	6%	655
H24.4.1~7.24	898	90%	0	0%	101	10%	999
18年間の平均値	712	73.1%	156	16.0%	106	10.9%	974
H25.4.1~5.19	532	96%	0	0%	22	4%	554

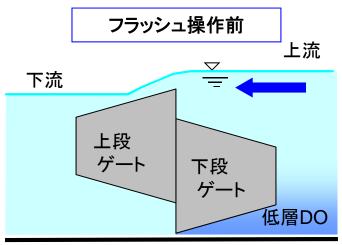
アンダーフローによるフラッシュ操作とは

■目 的

河川環境の保全と更なる改善に向け、夏期(4月~9月)に、堰上流河川の底層の溶存酸素量(DO)が低下する頻度を減少させることを目指す。

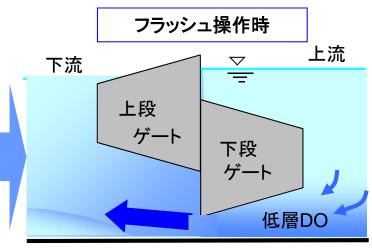
■実施内容

伊勢大橋地点の底層 DO が7.5 mg/ポ未満のとき、堰下流水位が満潮を迎えた後、アンダーフロー操作によって30分間、最大600m3/秒の流出量の増量操作を行う。



河口堰運用後は、DOの低い塩水塊の侵入が無くなり、堰上流の底層DOは、汽水域であった頃に比べ改善しました。 夏期には、水温が上昇することにより表層と下層の温度差による密度差が生

低層DO を対しては、水温が工弁することにより表層と下層の温度差による密度差が生じ、下層の水が動きにくくなり、一時的に底層のDOが低下する場合があります。



底層DOが低い河川水を勢いよく流下(フラッシュ操作)させることにより、塩分が侵入しない範囲内で、下層に流動を生じさせ、底層DOの低下を防ぎます。さらに、流下した水は下流での混合等によりDOの改善効果が期待されます。

【フラッシュ操作による水位変化の模式図】

